

## どこから屋内に侵入してくる？

築年数が40年以上の建物にお住いの方から、多くの相談が寄せられました。

現地調査をすると、劣化して、穴が開いたところから侵入してくるだけでなく、建物の構造上存在している隙間（屋根の組み合わせの隙間など）などから侵入しているケースもありました。



ハクビシンは直径8センチくらいの穴から侵入可能です（ネズミはさらに小さい1～2センチくらいの隙間でも侵入します）。

アライグマは小さい穴をこじ開けて侵入することがあるので、家屋への被害が大きくなります。隙間をできるだけ作らない、塞ぐことが重要です。

アライグマ、ハクビシンは雨どいを使って器用に登り降りできるので、そこを伝って侵入口にやって来たり、庭木が伸びて屋根やベランダなどにかかっていると、それを伝って侵入してきます。伸びた木の枝はこまめに切っておくことが重要です。

また、庭に草木が生い茂っていると、動物が隠れるのに都合が良いため、伸びないように手入れをする必要があります。

庭に果物がなっている場合、野生動物を引き付けることになるので、できるだけ果実は早めに収穫することが重要です。

酸っぱい果物（レモンなど）には寄って来ない傾向があります。

